

本学の IR（インスティテューショナル・リサーチ）活動について

2022（R4）年 9 月 14 日

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部

IR 推進委員会

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部（以下「本学」という。）では、教学の改善及びこれを支える経営の改善を目的として、本学の教育、研究、財務、施設、人事等に関する情報の収集、分析、報告、公表等を実施するために、インスティテューショナル・リサーチ（以下「IR」という。）活動を行うことが規程で定められています。

IR 活動を行う組織は「IR 推進委員会」とされており、当該組織は主に以下の業務を行うことが定められています。

- (1) 大学情報の提供及び分析を通じた計画策定の促進及び支援
- (2) 大学情報の提供による意思決定の支援
- (3) 大学情報の分析及びその解釈並びにコンサルテーション
- (4) 教育内容及び教育方法の改善の支援及び推進
- (5) 教育効果の評価及び評価方法の開発、実施
- (6) 教員の教育力向上の支援及び推進
- (7) 大学教育に関する学内外の情報の収集及び分析並びに学内外への情報の発信
- (8) その他 IR の目的を達成するために必要とされる業務

特に IR 活動を主に行う者として「IR 専門職」を置き、IR 推進委員会の委員長を兼務している。また、教学 IR に関する業務は教学課教育企画グループが、経営 IR に関する業務は法人企画室が担っています。

教学 IR の主な活動事例を以下に掲載します。

①学修成果の可視化

学修成果の可視化を目的とし、DP（ディプロマポリシー）の達成度を測るためのルーブリック評価表を作成。毎年当該評価表を使用し、学生が自己評価を行い、その結果の集計及び数値の伸長を確認、分析し、改善提案を行っている。

②3つのポリシーの整合性

本学が掲げる3つのポリシー、AP（アドミッションポリシー）、CP（カリキュラムポリシー）、DP（ディプロマポリシー）と本学の展開する教育活動や他の活動内容、施設設備、組織体制等が整合しているかを確認するため、主として次の情報を収集し、分析を行っている。

- ・入学者選抜の結果
- ・アセスメントテストの結果
- ・授業科目の成績や GPA（グレードポイントアベレージ）
- ・授業評価アンケートの結果
- ・学生生活満足度調査の結果
- ・施設設備アンケートの結果
- ・DP ルーブリック自己評価の結果
- ・卒業生対象アンケートの結果
- ・DP についての対企業アンケート

③ アセスメントテストの実施と分析

毎年行っている外部アセスメントテストを実施し、その結果の集計、分析を行っている。ジェネリックスキルやコンピテンシーの結果と経験の相関性について分析し、学生の成長に資するのはどのような経験か、またどのような経験を与えれば効果的な学習成果を得られるのかを検討。これに基づき、各センターや委員会等の組織に対して提言や情報共有を行っている。

④ 中退率分析

中退件数とその理由について集計、分析を行っている。学年別、入学者選抜の区分別等の観点からその傾向を分析し、中退予防についての提言を行っている。

⑤ 入学者選抜の適切性

学修成果を入学者選抜の区分ごとに集計、分析し、その傾向を検証。入学者選抜が AP（アドミッションポリシー）に則って実施できているか、入学した学生は AP に掲げた能力を持ち合わせているか、入学した学生は入学後問題なく学修できているか、などを検証している。

⑥ 成績評価の適切性

授業科目における成績評価の分布、各科目 GPA（グレードポイントアベレージ）等を集計し、その傾向や偏りを確認している。教員別、科目区分別等の観点より集計結果を検証し、必要に応じて状況の改善についての提言を行っている。

⑦ 他大学との共同 IR

愛知東邦大学、愛知みずほ大学と IR の取り組み内容、手法等についての情報交換や検討、研修を行い、IR 活動を推進するためのノウハウを共有している。また、アンケート等の設問を同一のものにし、データを共有し、傾向の分析等も実施している。

⑧ 各部署へのデータ提供

アセスメントポリシーに基づく検証作業を円滑に行うため、各センターや委員会、部署が検証作業に必要とするデータを収集、集計し提供している。

⑨ 経営に関する IR

財務分析、財務比率の確認、他大学との比較を行い、経営の安全性について検証を行っている。また、人事制度や働き方に関する情報の収集、資産運用に関する情報の収集を行い、経営判断のための材料を提供している。

以上